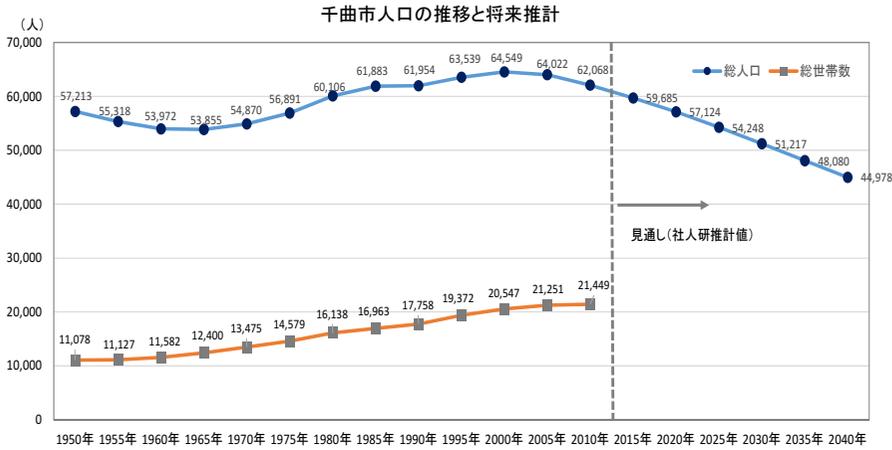


「千曲市人口ビジョン」「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要

千曲市人口ビジョン (～平成52年)

人口の推移と推計

本市の人口は、平成12(2000)年の64,549人をピークに減少しはじめました。このままの状況が続いた場合、本市の人口は平成52(2040)年には44,978人と5万人を大きく割り込むと予測されています。

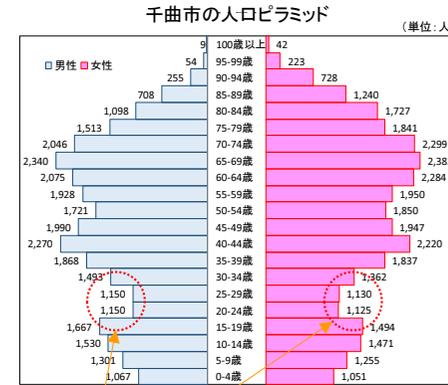


出典：2010年まで国勢調査（2005年までは2009年10月1日の境界による） / 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』2013年3月をベースに再計算

人口構造と自然動態・社会動態の推移

本市の人口構造は男女とも20～34歳が大きく凹んでおり、若年層の他市町村への流出傾向がみられます。

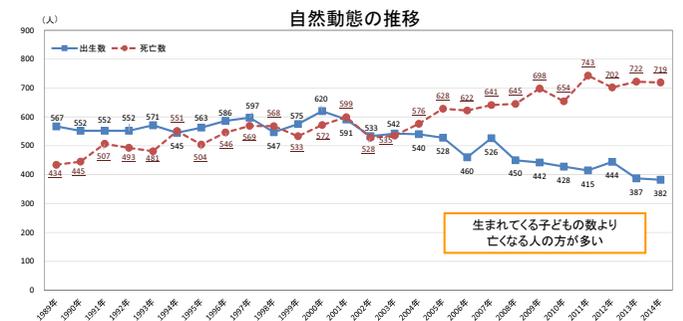
また、自然動態は近年死亡数が上回り、出生数は減少を続けています。社会動態も平成12(2000)年頃を境に、転出者数が転入者数を上回るようになっていきます。



出典：長野県毎月人口異動調査（2014年10月1日現在）

若者が流出

出典：長野県毎月人口異動調査 市町村別異動状況 ※2003年までは更埴市、戸倉町、上山田町の合算値



生まれてくる子どもの数より 亡くなる人の方が多い



転出超過の傾向

千曲市の人口の将来展望

本市が将来にわたり一定の都市機能と地域活力を維持するため、平成52(2040)年の目標人口50,000人を目指します。

目標人口 平成52年(2040年) 50,000人

●自然増における目標

合計特殊出生率を上昇させる。

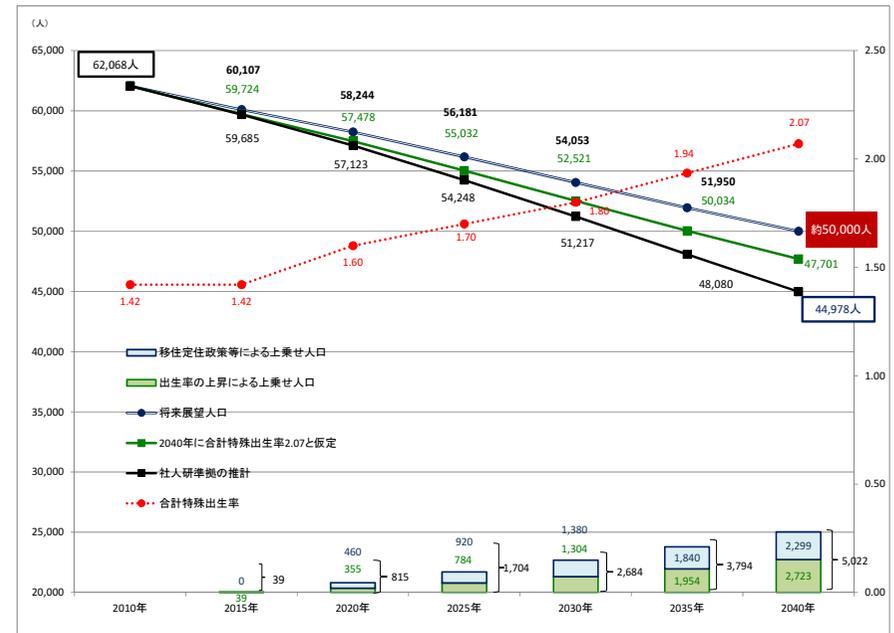
出会い、結婚、出産から子育てまでの一貫した支援を実施

●社会増における目標

人口の政策的誘導を達成し、社会減を食い止める。

年間92人(5年間で460人)の社会増を社人研推計値より上乗せする(政策的誘導)

平成52(2040)年目標人口を達成するための人口の将来展望



| | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 累計 |
|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 社人研推計値(人) | 59,685 | 57,123 | 54,248 | 51,217 | 48,080 | 44,978 | - |
| 合計特殊出生率 | 1.42 | 1.60 | 1.70 | 1.80 | 1.94 | 2.07 | - |
| 出生率の上昇による上乗せ人口(人) | 39 | 316 | 429 | 520 | 650 | 769 | 2,723 |
| 移住定住政策等による上乗せ人口(人) | 0 | 460 | 460 | 460 | 460 | 459 | 2,299 |
| 目標人口(人) | - | - | - | - | - | 50,000 | - |

人・物・情報が行き交う賑わいの「広域交流拠点都市」の創造

基本的な考え方

- 人口減少と地域活力縮小の悪循環を断ち切る
- 北陸新幹線新駅設置を基軸としたまち・ひと・しごとの創生と好循環を確立する

目標人口

平成52年（2040年）50,000人

基本目標

具体的施策

基本目標1

安定した雇用を創出する

- 【数値目標】
- 市内事業所雇用数 23,845人
 - 新規若年雇用者数 250人 (H27～H31の平均値)

1. 企業・産業人材の誘致、採用・就労の拡大による雇用の創出

- ・工場等立地推進
- ・企業及び政府関係機関の地方移転
- ・ICT産業の誘致強化
- ・産業人材の結びつけ(マッチング)と誘致

2. 地域産業の競争力強化による雇用の創出

- ・商品開発・市場開拓の支援
- ・観光資源の活用と新市場への対応力向上の支援
- ・千曲産品のブランド力向上の支援

3. 若い世代の経済的安定

- ・若者・子育て世代への就労・創業支援
- ・IUターン受入企業及び就業者への経済的支援
- ・非正規雇用の解消

4. 経済の地域内循環の促進

- ・食品製造業における生産・加工・消費の三者の交流促進
- ・あんずをはじめとした地元農産物の加工商品化の促進
- ・千曲市産のワイン用ぶどうの製造・販売

基本目標2

新しい人の流れをつくる

- 【数値目標】
- 社会増減(年間延べ) ▲18人
 - 観光客入込総数 463,890人

1. 千曲市の魅力を発信するシティプロモーションの推進

- ・千曲市の認知度と郷土愛の向上
- ・若者、子育て世代に選ばれるためのPRの実施
- ・オール千曲の観光地域づくりの推進

2. 地域資源を活かした交流の拡大

- ・スポーツによる誘客の推進
- ・女性・親子向け体験型イベントの提供
- ・外国人旅行者増加による地域経済の活性化と地域ブランド力の引き上げ

3. 移住・定住の推進

- ・若年層・子育て世代のIUターンとIUターン・定住の促進
- ・シニア世代の移住促進

4. 地方大学等の活用

- ・サテライトキャンパスの誘致
- ・千曲市企業と学生との接点づくり

5. 魅力的で誇りを持てる教育の提供

- ・千曲型コミュニティスクールの推進
- ・子育て世代を惹きつける教育環境の整備
- ・「ふるさと」に誇りを抱く教育の推進

基本目標3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 【数値目標】
- 合計特殊出生率 1.56
 - 子育てについての不安や負担を感じる割合 22.0% (H30)

1. 結婚から妊娠・出産・育児に渡る切れ目ない支援

- ・ワンストップ拠点の設置(千曲市版ネウボラ)
- ・母子保健法等に基づく健診・予防接種等の実施
- ・妊産婦・子育て家庭にやさしい地域の形成
- ・結婚希望の実現の支援

2. 子育て家庭の経済的負担の軽減

- ・保育料軽減
- ・三世帯同居・近居の支援
- ・住宅取得の支援

3. 協働による子育てコミュニティサイトの構築

- ・コミュニティサイトの設計・構築
- ・出産・子育て中の市民を対象とした情報提供
- ・子育て相談・交流の場の提供

4. 仕事と生活の調和の実現

- ・女性が安心して生活し活躍できる地域の形成
- ・仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の実現の啓発
- ・女性・子育てに優しい事業所や取組の広報

基本目標4

時代に合った地域をつくり地域連携を進める

- 【数値目標】
- 新幹線駅設置の実現 平成34年までの設置を目指す
 - 中心市街地居住者の生活利便性 H27年度比 1割増

1. 新幹線新駅設置等による交流拠点機能の強化

- ・新幹線新駅設置の促進と広域交流機能・産業機能の導入
- ・スマートインターチェンジの新設促進と機能強化
- ・幹線道路・市道の整備・改良

2. 都市の再構築によるエリア再生

- ・時代に対応した市土利用の再設計
- ・人口・既存ストック集中地域の再生
- ・危険空き家対策の推進
- ・公共交通網の最適設計と利用促進

3. 歴史・文化資源を活かした交流拠点の形成

- ・稲荷山の伝統的建造物群の保全と活用
- ・既存施設を活かした拠点づくり

4. 公共施設及びインフラの更新・統廃合・長寿命化の推進

- ・時代に対応した公共施設マネジメントの推進
- ・時代に対応したインフラ・マネジメントの推進

5. 地域防災の充実強化

- ・市民主導による防災体制の構築
- ・消防団への支援と地域との連携による防災力強化

6. 広域連携による施策の推進

- ・長野市との連携協約に基づく施策の推進

基本目標5

健康寿命を延ばし高齢者の社会参加を高める

- 【数値目標】
- 健康寿命 延伸 ○平均寿命 延伸
 - 市政の「高齢者福祉」に対する不満 低下
 - 誰もが安心して暮らせる地域に なっていると感じる市民の割合 上昇

1. 中高年が楽しみながら健康になれるスポーツのまちづくり

- ・日常的な身体活動量をあげる「すこやかちかくま」の推進
- ・ジョギングの普及による健康増進の支援
- ・身体機能維持・向上のための場の整備

2. 生きがいづくりと社会参加

- ・リタイア世代を対象とした生涯学習の推進
- ・第二の人生の創造のための結びつけ(マッチング)支援
- ・子どもとの交流・ふれあい

3. 健診受診促進と健康づくりの推進

- ・企業等と連携した健診受診の促進と健康増進情報の提供
- ・三師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)との連携による健康づくりの促進

4. 介護予防の実施

- ・元気高齢者に対する地域ぐるみの予防活動の実施(一般介護予防の実施)
- ・住み慣れた地域で交流できる場と機会の創出促進
- ・在宅生活を支える支援サービス提供体制の構築支援